

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 H組～ E組

使用教科書：（第一学習社 精選言語文化 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話	書	読							
1 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	砂に埋もれたル・コルビュジエ 原田 マハ 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取る。		○	○	○		○	○	○	9	
	定期考査							○	○		1	
	詩、古文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	I was born 吉野 弘 散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。		○	○	○			○	○	○	3
		伊勢物語 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 枕草子 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。		○	○	○			○	○	○	8
定期考査								○	○		1	
2 学期	小説、俳句 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	夢十夜 夏目漱石 「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 俳句 わが国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。		○	○	○			○	○	○	11
	定期考査							○	○		1	
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	土佐日記 わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 史伝 やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。		○	○	○			○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
3 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	空き缶 林京子 現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各場面における登場人物たちの思いを読み取る		○	○	○			○	○	○	10
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	漢詩 表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 思想 孔子のものの見方や考え方を理解する。		○	○	○			○	○	○	10
	定期考査								○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 H組～ E組

使用教科書：（大修館書店 現代の国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	資料を駆使する 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	資料と文章の関係を読む 「安くておいしい国」の限界／インターネット時代の音楽産業白紙 ・資料と文章の関係を注意して、情報を読み取る。	○	○	○	【知・技】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・資料と文章の関係を読み取ることに興味をもち、的確な情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	1	
	情報を比較する・他者を動かす 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	文章を比較して読む 「美しさの発見」について（脳は美をどうとらえるか）／空気を読む／「個人」から「分人」へ ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	○	○	○	4
	説得力のある資料をつくる ・提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 ・効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。		○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・企画書を書く活動に興味をもち、効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫して書こうとしている。	○	○	○	2
定期考査							○	○	1	
2 学期	他者を動かす 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	資料を用いて発表する ・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて、効果的に発表する。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的態度】 ・プレゼンテーションをすることに意欲をもち、聞き手の心を動かす話し方を工夫しながら発表しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○	1
	他者を動かす 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	社会への視点② さまざまな広告 ・広告やCMなど、実用的な表現の特色をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・広告やCMに興味をもち、その特色をとらえようとしている。 【主体的態度】	○	○	○	6
定期考査								○	○	1
3 学期	考えを発信する 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	主体的に読む 白／作業ロボットの悲劇 ・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・読み取った情報を活用する。	○	○	○	【知・技】 ・推論のしかたを理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・必要な情報を読み取ったり、その情報を活用したりすることを意識しながら、文章を読もうとしている。	○	○	○	5
	考えを発信する 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	結論を出すために話し合う ・異なる意見を持つ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 【主体的態度】 ・結論の出し方を工夫して話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査								○	○

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮・地総705））

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバルに主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、諸資料等を用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関する特色などを活用して多面的に考察したり、現代社会での課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史の学習を通して、よりよい社会の実現に向けて現代社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、様々な学習を通して、日本や世界の地理や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【知識及び技能】 球面上の世界の位置や時刻の表し方や国家間の結びつき方、様々な地図の特徴を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体であることの特徴を踏まえ、位置や時刻適切に表すことができるようにする。国家間の結びつきについて、社会や時代の変化を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの状況について興味を持ち、時差や様々な地図が日常生活や経済活動へどのように影響を考えているかを考え、各課題に対して主体的に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項 地図とGISの活用 1節 球面上の世界 1, 2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球 2節 国家の領域と領土問題 1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題 3節 国内や国家間の結びつき 1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき 4節 日常生活のさまざまな地図 1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システム（GIS）のしくみと使い方 ・教材 教科書、地図帳、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>地図とGISの活用 【知識及び技能】 球面上の世界の位置や時刻の表し方や国家間の結びつき方、様々な地図の特徴を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体であることの特徴を踏まえ、位置や時刻適切に表すことができる。国家間の結びつきについて、社会や時代の変化を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの状況について興味を持ち、時差や様々な地図が日常生活や経済活動へどのように影響を考えているかを考え、各課題に対して主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
	定期考査（1学期中間）			○	○		1
	<p>【知識及び技能】 地形や気候などの特徴を理解し、多様な資料から必要な情報を適切に読み取らせる。各産業の特色を理解し、様々な資料から経済活動の発展を読み取らせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候と人々の生活文化との関係性を様々な資料を用いて適切に考察し、表現させる。 世界の産業の特色について、自然環境や生活文化との関係を考察し、まとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地形・気候と生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。産業と自分との関わりについて意欲的に探究する。</p>	<p>・指導事項 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなりたち 2, 3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル 7 季節の違い 大陸の西岸と東岸 8 寒冷な気候 シベリア 2節 産業の発展と生活文化 1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4, 5 経済成長 中国 6, 7 工業化 タイ・ベトナム ・教材 教科書、地図帳、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 地形や気候などの特徴を理解し、多様な資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。各産業の特色を理解し、様々な資料から経済活動の発展を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候と人々の生活文化との関係性を様々な資料を用いて適切に考察し、表現できる。世界の産業の特色について、自然環境や生活文化との関係を考察し、まとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地形・気候と生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査（1学期期末）			○	○		1	

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ Standard 数学 I 東京書籍 ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、計算式やグラフを用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

計算式やグラフを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、計算式やグラフを表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①基礎的な計算力を身に着け、定理等の考察に対応できる。 ②2次不等式・三角比・データ・集合の解法を理解している。 ③2次不等式・三角比・データ・集合の具体的な事象に対して応用することができる	①2次不等式・三角比・データ・集合の定理や公式の内容を理解している。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①2次不等式・三角比・データ・集合やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②2次不等式・三角比・データ・集合に関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2次方程式・2次不等式 【知識及び技能】 2次方程式・2次不等式が計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 回復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 GeoGebra等	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク・プリント/ノート等を確実に提出	○	○	○	9
三角比（拡張を含む） 【知識及び技能】 三角比の値を求めることができる展開や因数分解が計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 回復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 GeoGebra等	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク・プリント/ノート等を確実に提出	○	○	○	12
三角形への応用（平面、空間） 【知識及び技能】 定理・公式を利用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 回復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク・プリント/ノート等を確実に提出	○	○	○	13
データの分析 【知識及び技能】 公式を利用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 回復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク・プリント/ノート等を確実に提出	○	○	○	15
集合・命題と論証 【知識及び技能】 集合・命題の利用方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図や命題から内容を読み取り、応用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 回復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク・プリント/ノート等を確実に提出	○	○	○	16

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書： （ 高等学校化学基礎 数研出版 ）

教科 理科 単元の目標：

【知識及び技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 化学基礎 の目標： 化学的な事物・現象について、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・化学的な課題を解決するための基本的な知識を身に付ける。 ・実験器具を安全・正確に扱うことができる。	・身につけた知識を活用して、化学的な課題に取り組むことができる。 ・化学的な現象について知識を活用して、文章やモデル図等で表現できる。 ・実験結果を活用して、物質を区別したり、法則性を発見できる。	・課題に粘り強く取り組むことができる。 ・課題や宿題を提出できるように自ら計画を立て、学習を進めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物質と化学反応式 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身に付け、実験器具を安全・正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	原子量・分子量・式量	・絶対質量を相対質量で表す理由を説明できる。 ・粒子をまとめて取り扱う手法から物質の概念を説明できる。 ・分子量、式量を計算で求めることができる。	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
		物質	・物質を用いて質量、体積、個数を求めることができる。 ・質量、体積、個数を用いて物質を求めることができる。	○	○	○	7
	期末考査			○	○		1
2 学 期		溶液の濃度	・物質を用いてモル濃度を求めることができる。 ・質量パーセント濃度モル濃度の間の濃度変換を行うことができる。	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
		化学反応式と物質	・化学反応式の係数を求めることができる。 ・化学反応式の係数を用いて生成物の質量、体積を推測できる。	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
3 学 期	粒子の結合 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身に付け、実験器具を安全・正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	分子のからなる物質 金属	・無機物質の特徴や用途を説明できる。 ・有機物質の特徴や用途を説明できる。 ・高分子化合物の特徴や用途を説明できる。	○	○	○	5
	学期末考査			○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書： （ 高等学校化学基礎 数研出版 ）

教科 理科 単元の目標：

【知識及び技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 化学基礎 の目標： 化学的な事物・現象について、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・化学的な課題を解決するための基本的な知識を身につける。 ・実験器具を安全・正確に扱うことができる。	・身につけた知識を活用して、化学的な課題に取り組むことができる。 ・化学的な現象について知識を活用して、文章やモデル図等で表現できる。 ・実験結果を活用して、物質を区別したり、法則性を発見できる。	・課題に粘り強く取り組むことができる。 ・課題や宿題を提出できるように自ら計画を立て、学習を進めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 学 期	物質の構成 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法を調整したり、粘り強く学習に参加できる。	混合物と純物質 物質とその成分 物質の三態と熱運動 原子とその構造 イオン 元素の周期表 イオン結合とイオンからなる物質	・元素を実験で確認する実験を計画でき、実験結果から元素を判断できる。 ・混合物から物質の化学的性質や物理的性質を考慮しながら純物質を分離・精製する方法を説明できる。 ・粒子の熱運動の様子を情報をもとにモデル図で表現し説明できる。 ・原子の構成から、原子番号、陽子の数、電子の数、中性子数を求めることができる。 ・同位体とは何かを説明できる。 ・原子の電子配置を様々な表現方法で書ける。 ・最外殻電子数や価電子数を周期表の族から推測でき、原子の電子式を書くことができる。 ・イオン化エネルギー、価電子数などから周期律を発見できる。 ・イオンの形成理由と希ガスの電子配置が安定な理由に起因していることを発見できる。 ・イオンの形成に伴うエネルギーについて説明でき、周期性を発見できる。 ・イオンどうしがどのような力によって、結合するかを理解する。 ・イオンからなる物質の表し方や特徴を理解する。	○	○	○	4
	中間考査			○	○		1
	粒子の結合 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法を調整したり、粘り強く学習に参加できる。	金属結合と金属 分子と共有結合	・金属（結晶）の性質を自由電子の性質を用い説明できる。 ・金属結合が起こる理由と希ガスの電子配置が安定な理由に起因していることを発見できる。 ・共有結合が起こる理由と希ガスの電子配置が安定な理由に起因していることを発見できる。 ・共有結合でできている分子を電子式や構造式で書くことができる。 ・分子模型を用いて分子の形を確認することができる。 ・分子に極性が生じることを電気陰性度と分子の形から説明できる。	○	○	○	5
	期末考査			○	○		1
2 学 期		共有結合の結晶	・共有結合結晶の特徴を共有結合の性質から説明できる。	○	○	○	3
	酸と塩基の反応 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法を調整したり、粘り強く学習に参加できる。	酸・塩基 水の電離と水溶液のpH	・酸・塩基の強弱を実験結果から推測できる。 ・酸や塩基の定義から水素イオン濃度を求めることができる。 ・水素イオン濃度を用いてpHを求めることができる。	○	○	○	3
	中間考査			○	○		1
		中和反応	・中和反応式が書け、その係数から量的関係を求めることができる。 ・中和滴定で用いる実験器具の洗浄方法とその理由を説明できる。 ・中和滴定曲線から、pH指示薬の選定、生じる塩の液性や使用した酸や塩基を読み取ることができる	○	○	○	4
	中和滴定	・中和滴定を用いて、酸や塩基の強弱と量的関係は関係せず、価数に関係することを発見できる。	○	○	○	2	
期末考査			○	○		1	
3 学 期	酸化還元反応 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法を調整したり、粘り強く学習に参加できる。	酸化と還元 酸化剤と還元剤	・酸化還元を電子の授受で説明できる。 ・酸化還元反応における酸化剤、還元剤を酸化数をを用いて判断できる。 ・酸化剤や還元剤の半反応式から酸化還元反応式をつくることができる。また、その係数から量的関係を求めることができる。 ・酸化還元滴定を用いて濃度未知な酸化剤や還元剤の濃度を求めることができる。	○	○	○	3
		金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用	・イオン化傾向を用いて、金属と溶液の組み合わせの反応が起こるか起こらないかを推測できる。 ・電池の負極、正極をイオン化傾向と関連させて判断できる。 ・電池の起電力をイオン化傾向と関連させて判断できる。	○	○	○	2
学年末考査				○	○		1

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 H 組 ~ E 組

使用教科書: (生基704 「高校生物基礎」 実教出版)

教科 理科 単元の目標:

【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 生物基礎 単元の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 細胞とエネルギー	・生物は多様でありながら、共通性があることを理解させる。 ・生物の共通性の由来を理解させる。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。	発言分析・記述分析・行動観察 授業ごとの小テスト 授業プリントの提出状況および内容 実験プリントの提出状況および内容 単元ごとの単元テスト	○	○	○	13
	単元テスト			○	○		1
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の分配 3節 遺伝情報とタンパク質の合成	・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 ・タンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。	発言分析・記述分析・行動観察 授業ごとの小テスト 授業プリントの提出状況および内容 実験プリントの提出状況および内容 単元ごとの単元テスト	○	○	○	13
単元テスト			○	○		1	
2 学 期	第3章 生物の体内環境とその維持 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ	・一定の範囲に体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体液濃度の調節により、体内環境が保たれていることを理解させる。その際、血液凝固や腎臓の塩類濃度調節について触れる。	発言分析・記述分析・行動観察 授業ごとの小テスト 授業プリントの提出状況および内容 実験プリントの提出状況および内容 単元ごとの単元テスト	○	○	○	13
	単元テスト			○	○		1
	3節 免疫 第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移	・体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察させる。 ・植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解させる。	発言分析・記述分析・行動観察 授業ごとの小テスト 授業プリントの提出状況および内容 実験プリントの提出状況および内容 単元ごとの単元テスト	○	○	○	13
単元テスト			○	○		1	
3 学 期	2節 気候とバイオーム 3節 生態系と物質循環 4節 生態系のバランスと保全	・生態系において物質が循環すること、およびそれに伴ってエネルギーが移動することを理解させる。 ・炭素循環および窒素循環の過程を理解させる。	発言分析・記述分析・行動観察 授業ごとの小テスト 授業プリントの提出状況および内容 実験プリントの提出状況および内容 単元ごとの単元テスト	○	○	○	13
	課題研究			○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：① 単位
 対象学年組：第 1 学年 組～ 組
 使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

保健体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

保健体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康	【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	○	○	○	4
				○	○	○	5
				○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。	・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動	【知識・技能】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
				○	○	○	7
				○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。	・調べ学習 ・発表	【知識・技能】 国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
							35

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標: 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標: 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔軟体操 ・基礎体力作り (短距離走、ボール投げ、中距離走) ・農芸体操 (体操の体得)	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動にを計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道 (受け身の習得)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	C ミニバレー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・ミニバレー (技能の習得と試合)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・水泳 (クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定)	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6

	<p>E 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主</p>	<p>・講義 ・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>F 種目選択 バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高</p> <p>定期考査</p>	<p>・バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	6
2 学 期	<p>A 水泳</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）</p>	<p>【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	4
	<p>B 柔道</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・柔道（受け身・固め技の習得）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	7
	<p>C 種目選択 バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高</p>	<p>・バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	7

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書： （ Amity English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて日常的、社会的な話題について外国語を理解したり表現しようとする事ができる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の学習を通して海外の文化や人々の考えを理解し世界平和に貢献しようとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 基本的文法事項を理解し、その知識を利用して英文を理解することができる。 ・ 重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。 ・ 本文の内容を把握し簡単に説明できる。	・ 授業中、又、授業の予習、復習時に、課題プリントやノートを利用して、授業で学んだことをもとに思考を深め自己表現につなげることができる。（課題やノート提出を期限内に行うことができる。）	・ 英語基礎力定着に不可欠な語彙力増強を目指して行う単語テストの勉強に主体的に取り組み、成果をあげることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ 「 」 ） ）	話 （ 「 」 ） ）					
1 学 期	Okinawa 沖縄についての英文を読み、沖縄でやってみようことや旅行で行ってみたい場所の魅力について考察し、クラスで共有したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	13
	The History of Japanese Food 日本食の歴史についての英文を読み、古代から現代への日本食の発展について伝え合ったり、好きな食べ物について紹介したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	Interesting Aquariums 日本のユニークな水族館についての英文を読み、知っているユニークな水族館や動物園を紹介し、その特徴や自分が好きな点について伝え合ったり説明したりできる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	15
	The Relay of Ahmed's Life 長年戦争が続く地域で起こった出来事について読み、命の価値や平和について考えを深め、考えを共有することができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2 学 期	Artificial Intelligence AIについての英文を読み、ほしいと思うAIロボットについて話合ったり、将来の人間との関係について伝え合ったり話したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	14
	The Mystery of Colors 色の持つ不思議なちからや生活の中で私たちが無意識のうちに受けている影響についての英文を読み、好きな色や色に関して調べたことについて伝え合ったりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	14
3 学 期	Street Performers Street Performersについての英文を読み、Street Performersの生活について相手に伝えたり、自分の好きなミュージシャンについて紹介したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	15
	Finland フィンランドについての英文を読み、機内での会話を聞いたり、フィンランドの文化や商品の魅力について伝えたり紹介したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	14
									合 計	105

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ 家庭総合 ）

教科 家庭総合 の目標：

単元の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【第9章 経済生活を営む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約・多様な販売方法や支払方法・問題商法について理解する。 <p>【第2章 人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生100年人生と言われる現代の中でどんな職業に就くか、なぜ結婚、どんな子育てをするのか考えてみる。 ・これからの家族が多様性が尊重されると共に一人ひとりの人権がまもられることが大切なことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害の事例を調べ、消費者の権利と責任を考える。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 ・人生100年時代の現在、従来の男女役割分担の考えでは長い人生を過ごすことは難しい。自分らしい人生の為に家庭・地域・社会の男女平等を理解できるようにする。 	<p>現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりもくしている。 ・男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある 	○	○	○	14
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ・ひとりで取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活時間や、食・衣・住に関すること、ボランティア活動など、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探ることができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>【第7章 衣生活をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人はなぜ衣服を着るのか理解し、衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 ・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。 <p>【第2章 人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業労働、家事労働のそれぞれの労働についての現状、課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 ・職業労働、家事労働について、グループで話し合い意見を発表する。 	<p>衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりもくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 	○	○	○	14
	<p>【第7章 衣生活をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 <p>【第2章 人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、経験するであろう一人暮らしの賃貸契約、必要な条件などを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常着を製作する。 ・持ち家、賃貸住宅についてのメリット、デメリットを知り、将来の生活設計に役立つ様に理解する。 	<p>衣服製作実習を通して、材料の選択、日常の管理の方法を習得するとともに、基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の作成ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしのための賃貸物件を選ぶに当たり適切は判断が理解できる。 	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>【第9章 経済生活を営む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活設計とかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。 ・家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活における経済と社会のかかわりについて学び、適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 ・法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する 	<p>短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族に関する法律についての知識を身につけている。 ・家族、家庭生活に関する法律について関心をもち、家庭生活と法律との関係について、理解しようとしている。 	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1